

就職体験談

卒業生氏名 :ス ミャツ ウェー
卒業年月 :2026年 3月
卒業学部 :中部学院大短期大学部 社会福祉学科

私は2021年から日本語の勉強を始め、日本で就職して長時間働きたいという希望がありました。日本でどのような仕事をしたらいいか考える際、中学生の時、お祖母さんが病気になって両親と協力して世話をしあげたことを思い出しました。私になんかをしてあげたときお祖母さんが笑顔で感謝を表したのを見て、お年寄りに世話をすることに関心を持ち、介護の仕事に決めました。その時、オンラインクラスで日本の先生と出会い、岐阜県で介護福祉修学資金を利用して介護の勉強できることを知り、中部学院大学短期大学部に入学することになりました。

社会福祉学科に入学する前、留学生別科で1年間日本語を勉強して日本語能力試験 N2を合格しました。社会福祉学科に入学したときは日常の日本語ではなく、介護の専門用語なので理解できるだろうかと心配しました。しかし、別科での先生方のおかげ、大学の先生方も分かりやすい日本語で教えてくださったので介護の勉強を進める事ができました。短大の2年間では介護についての専門的な知識や技術だけではなく、グループ学習、ゼミ活動などにみんなと協力していろいろなことを体験することができました。また、キャリア支援センターや留学生支援課からも就職活動についてアドバイスや支援をいただきました。現在はアルバイトしている特別養護老人ホームに就職することになりました。

私は2年間の勉強、3度の実習、アルバイトを通じて介護に大事なものといえばコミュニケーション能力です。利用者様とのコミュニケーション、職員さんとのコミュニケーション、周りの人たちと接するときにも必ず必要です。ですから、後輩たちに介護知識や技術だけではなく、コミュニケーション能力もつけてほしいです。